



全国酪農業協同組合連合会と全国酪農青年女性会議共催の「第35回らくのうこどもギャラリー」で全国472点の応募作品の中から、馬場川小学校から応募した岡崎可鈴さん（6年生）と横山ちはるさん（3年生）の作品が入賞12点の中に選ばれました。

馬場川小学校では、毎年写生会で描いた作品を「らくのうこどもギャラリー」に応募しており、今年も全校児童で牛を見に行き、自分の気に入った牛を絵にしました。今年は、岡崎可鈴さんが特選（全国一）に選ばれたほか、横山ちはるさんが入選に選ばれました。



↑横山ちはるさんの作品 【入選】
タイトル「牛舎でふるえる子牛」



↑岡崎可鈴さんの作品 【特選】
タイトル「おとなしいジャージー」

編集後記

▼先月、町では成人式が行われ、93名が大人の仲間入りをしました。自分が成人式を迎えたときはどうだったろう…当時はやっぱり外見ばかりを気にしてダイエットをしたり、不規則な生活をしていたと反省をしています。今回特集で学んだ「食育」のことを考えながら食欲の秋を迎えようと思います。

▼地域で育まれてきた多彩な食文化が失われつつある今、親子から子へその家庭の味が伝えられることの大切さを感じます。それは、手から手へ伝統を伝える「手伝い」から始まるのではないのでしょうか。それには親の思いや知恵などが込められているはず。ほんのちよつこのことからみんなではじめてみませんか…

▼表紙の写真は、真駒内神社例大祭のクライマックス「太鼓合戦」前に行われた団体踊りの様子です。この直前に自分も踊りに参加していたので、本当はこの時も飛び入りで参加したい気持ちを抱えての撮影でした。カメラを持ちながら、マイクを持ってたり、花笠を持ってたり、ピールを持ってたり、とても楽しいお祭りでした。（乾・藤谷・稲船）

